

ツアープログラム催行時における安全対策マニュアル

地震発生時の安全対策マニュアル

A 商店街滞在中に大きな地震が発生した場合



地域をよく知る現場スタッフ、住民が指示・避難場所へ誘導

東日本大震災で大きな被害を与えた津波。震災当時にどこまで被害が及んだか、どの方向に移動すると高台があるかを、地元住民は熟知しています。万が一大きな地震が起きた場合には、地域をよく知るスタッフや住民が避難誘導を迅速に行いますので、落ち着いて指示に従い、安全な高台へ避難してください。尚、車輛は使わず、徒歩避難を原則とします。

B 洋上体験中に大きな地震が発生した場合



陸地にすぐに戻り、高台へ避難

海上にいる場合は、速やかに港へ帰港し(最長でも15分程度で戻れます)、徒歩で各所指定の避難場所へ移動します。現場スタッフの指示、誘導に従って速やかに行動してください。

C 語り部による学びのプログラム受講時に大きな地震が発生した場合



ガイドによる安全な避難場所への誘導

案内する語り部に従い、安全な高台へ迅速に避難してください。

常時携行品例

外出先で被災する場合も想定されますので、必要なものは常に身に付けておくことをお勧めいたします。コンパクトで軽いものが理想的です。



懐中電灯



携帯ラジオ



ホイッスル



避難カード



避難用マップ

宮城県内では空間放射線量率を毎日測定し、その結果を県でとりまとめ、公表しております。詳細は右記サイトをご覧ください。

みやぎ原子力情報ステーション

<http://www.r-info-miyagi.jp/r-info>

TEL 022-211-2341

マニュアルに掲載されている情報は、当協会主催のツアープログラムに関する安全対策マニュアルになります。町外への避難方法や宿泊施設等のマニュアル・追加資料はございません。予めご了承の上、ご予約願います。

